

2016年7月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

7 2016
July
No.268

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 渡邊 観世子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[28.6.1現在]

4,567名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新人教育プログラム P4▶活動報告 P6▶災害対策委員会
P7▶会員ライフサポート部活動報告56報 P8▶学会情報 P10▶研修会・講習会 P12▶理事会報告
P14▶会長行動報告 P15▶information P16▶スポーツ現場の独り言 P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



今を変えなければ、未来は変わらない

 こころ訪問看護ステーション
麻生 由朗

みなさんは、理学療法士 (PT) として1人前だと思いますか? 私の学生時代の実習指導者などからは「ここでは〇年やってやっと1人前と認められるよ」と言われたことを覚えています。しかし、近年では取り巻く環境の変化や理学療法士数の急増により、職人的な1人前としてではなく、制度的に求められ無理やり1人前にさせられたPTが多く存在するように感じます。というよりも、介護保険導入以降はPTの働くフィールドは急速に拡大しており、『1人前の理学療法士』のモデルは曖昧になってしまったため、冒頭の質問は成立しなくなっているのかもしれない。

D. E. Superは、キャリア発達を個人の職業発達という視点で5段階に区分し、3段階目の確立段階 (25 ~ 45 歳) では職業的な専門性が確立され、4段階目の維持段階 (45 ~ 65 歳) では自己の職業的達成が維持・発展すると定義しています。この定義に従うとPT全体の傾向は、職業的な専門性を確立する途中の段階にいるPTが圧倒的に多い状況です。PTは1対1で対象者を担当することが多く、先輩・上司からの指導や助言がなければ、フィードバックは対象者のみになってしまいます。お手本とすべき先輩・上司の割合が低い状況下では、PTとして専門的に適切か、よりよくするために何が必要か理解しにくく、すべてのPTが専門職としてのキャリア発達を確認するのは難しいことだと思います。

私は8年ほど前に病院勤務から地域リハビリテーション分野に転職しました。直属の上司から求められているものは明確ではなく、先述の区分でいう確立段階は未熟な上、他職種と連携しながら働くことの難しさに焦りを覚えました。どうにかしないと考えた結果、自分の考えだけを押し付け、周囲の人には大変迷惑をかけたと思います。この頃から、理学療法士の専門性とは何だろう、求められているものは何だろうと考えるようになり、少しずつマネジメントに興味を持ち始め、いろいろな研修に参加するようになりました。

PTをはじめ医療職は、専門的な教育は受けませんが組織的・経営的な教育は不十分と感じます。そもそも初めから専門職として現場に関わっていたいからPTを目指した方が多いのではないのでしょうか? 私自身はその傾向が強かったと思います。専門スキルだけを追求するあまり、数年に一度来る介護・医療報酬の改定で右往左往してしまい、制度の対応が遅れる、組織が崩れる、組織を立てなおす。この繰り返しが悪循環を生み、最悪の場合、事業所は閉鎖されます。

ご存じの方も多いでしょうが、日本理学療法士協会から重点的人材育成事業に管理者の人材育成のための研修システムが追加されました。①県士会、ブロック、市町村へとミクロ化する組織対応範囲の充実、②医療・介護の再編に対する対応能力の強化、③多様な職場に勤務する理学療法士の質の向上を目的としたものです。専門的スキルを時代に適合させた形で継続して対象者にサービスを提供することが求められているのでしょうか。理学療法がサービスとして安定して継続できるように、PTが安心して働けるように。それぞれの領域で『1人前の理学療法士』のモデルが明確になることがその一助になることを望みます。

最後に、ホワイトボードに「過去、今、未来」と書かれていた。「過去は変えられるか」と問われた五郎丸は「変えられません」と答えた。続いて「未来は変えられるか」と聞かれ、今度は「変えられます」と答えた。「違う。お前が変えないといけないのは、今だ。今を変えなければ、未来は変わらない」五郎丸選手が2011年ラグビーW杯代表メンバー入りを逃した時に、当時のヘッドコーチとの会話です。PTの未来に警鐘を鳴らしたり、憂慮した内容の情報がたくさん出ている昨今、私たちにもどこか示唆のある言葉ではないでしょうか?

新人教育プログラム

平成28年度 第2回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度、平成28年度の第2回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日：平成28年9月25日（日）
受付開始時間 9：30～（予定）
- 開催地：「平塚プレジール」
所在地
〒254-0811 平塚市八重咲町3-8
- 交通：JR東海道線 平塚駅南口徒歩1分
- 受講費：本会会員 1,000円
(受講単位数に関わらず一律1,000円)
他士会会員 4,000円
(受講単位数に関わらず一律4,000円)
- 内容：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	単位
10：00-11：00	B-1. 一次救命処置と基本処置	1
11：05-12：05	B-2. クリニカルリーズニング	1
昼食		
12：55-13：55	D-2. 生涯学習と理学療法の専門領域	1
14：00-15：00	D-3. 理学療法の研究方法論（EBPT） 含む	1
15：05-16：05	E-2. コーチングとティーチング (コミュニケーションスキル含む)	1

- 申込方法：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。
各テーマは独立した研修会です。それぞれ受講登録が必要になります。すべてのテーマを受講される方は、各々の登録が必要になります。
受講登録が済みますと自動返信メールがお手元に届きますので返信内容をお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。
自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださいますようお願いいたします。
新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できない場合、受講をお断りしております。

7. 申請テーマのキャンセル：

事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

研修会当日にやむを得ずキャンセルをされる場合は、県士会PHS（070-5020-9036）までご一報をお願いいたします。

8. 講義資料：日本理学療法士協会「マイページ」よりダウンロードして持参下さい。会場での準備はございません。

9. 定員：400名（先着順）

10. 申し込み期間：

申込開始日：平成28年8月15日（月）

申込締切日：平成28年9月12日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

11. 当日の注意事項：

カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

なお、新人の方で会員証がお手元に届いていない方は早急に入会手続きを済ませてください。（発行手続きは協会へ申請後7～10日で完了します。）

会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。研修終了時に**改めて終了受付があります**。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。

昼食は各自でご用意ください。（ホール内での飲食は厳禁となっています）

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

e-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp

新人教育部 部長：木村 充広



新人教育部主催「新人症例報告会」のご案内

新人教育部 部長 木村 充広

- 日時**：平成28年12月4日（日）11：05～
 第3回新人教育プログラム研修会内で開催
エントリー期間：平成28年7月10日～平成28年11月7日
発表者募集定員：10名（定員になり次第締め切り）
 - 発表者資格**
 1) 本会の会員であり経験年数1～3年目までの者。
 2) 新人教育プログラム「C：理学療法の臨床」の選択必修4単位（C-6、C-7を合算）の取得を希望する者。
 - 当日の発表形式**
 1) 発表形式は口述とし、パワーポイントを使用します。用意しているPCのOSはWindows 7、アプリケーションソフトはPowerPoint 2010です。発表者一人の持ち時間は、発表10分、質疑応答10分を予定しています。
 - 発表希望者申し込み方法**
 1) 下記のメールアドレスに①氏名、②所属、③経験年数、④連絡先（e-mailアドレス）、⑤演題名を明記しエントリーを行う。エントリー終了後、担当者より詳細について案内メールがあります。
 e-mail：syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp
 新人症例報告会担当 新人教育部：
 藤尾 綾美 三縄 智栄
 - 抄録作成について**
 エントリー終了後、当日配布する500-600文字程度（A5程度）の簡単な抄録の作成をお願いします。詳細については担当者からのメールによる案内に従い記載してください。
 - 聴講希望者**
 1) 聴講後、新人教育プログラム未修了者には「C：理学療法の臨床」からC-7：「土会活動・社会貢献」の一単位が付与されます。これには前述した4-2)と同様の手続きでC-7への事前登録が必要です。積極的な参加をお待ちしています。
 2) すでに終了されている方の聴講も可能ですが、修了者であることを受付にてお申し出ください。
 - その他**
 1) 当日はB-4：症例報告・発表の仕方（高度専門士免除）が開講されます。受講希望者は上記のテーマとは別に前述した4-2)と同様の手続きでB-4への事前登録が必要です。
 2) 当日は発表のみ、または聴講のみであっても新人教育プログラム参加費1000円/日を徴収いたします。
- 2) 協会マイページより第3回新人教育プログラム研

以上

がんの治療に幅広く対応した、アフラックのがん保険。

生きるためのがん保険 Days

NEW!
がんを経験された方へ

生きるためのがん保険 寄りそうDays

はじめてアフラック

お問合せ先

募集代理店

国際保険株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社

Aflac

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7
新宿ファーストWEST17F
TEL.03-3344-1580

重大疾病[※]にも強くなった。

※「がん・脳卒中・急性心筋梗塞」(三大疾病)のことを指します。

ちゃんと応える医療保険 NEVER

ちゃんと応える医療保険 やさしいEVER

〈特約を付加した場合〉

活動報告

平成27年度事業意見交換会を終えて

総務部 木下 尚久 (新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里)

去る3月13日(日)に開催された第33回神奈川県理学療法士学会終了後の18時30分から20時30分まで、パシフィコ横浜6階ベイブリッジカフェテリアで、平成27年度の事業意見交換会が催されました。

事業意見交換会は、本会の事業発展に会員の意見を反映したく、広く意見交換できる場として、毎年県学会の終了後に会費制で開催しております。今年度からは総務部担当の事業となり、事前の準備や進行に手間取った事もありましたが、県士会事務職員や学会スタッフの皆様の多大なご協力をいただき、無事に終了できてホッとしています。

当日は、本会役員はじめ学会参加者、学会スタッフ、賛助会員等41名の会員の方に出席をして頂きました。ベイブリッジカフェテリアは、窓の外に目を向けると、みなとみらい周辺の夜景が一望できる素晴らしいロケーションの会場でした。林克郎会長の挨拶に始まり、松本肇学会長の学会終了報告、炭孝昭神奈川県理学療法連盟会長の挨拶に続き、20年以上の長きに亘り本会の活動に貢献して頂いた賛助会員の木村義肢工作研究所、日本ウイール・チェアー株式会社への感謝状授与が執り行われました。その後は、秋田裕前会長の発声による乾杯を合図に、お酒や食事を楽しみながら、本企画の趣旨でもある本会役員と会員との忌憚のない意見交換が、会場の随所で活発に行われていました。

事業名が“事業意見交換会”と少々堅苦しく、ちょっと

参加しにくいイメージがあったかと思いますが、企画の趣旨は“忌憚のない意見交換の場”です！来年は、より多くの会員の方々が気軽に参加して頂ける企画にしていきたいと考えておりますので、請うご期待ください。

末筆ではありますが、事業意見交換会の運営に多大なご協力をいただいた県士会事務所職員や第33回県学会スタッフの皆様を始め、参加して頂いたすべての会員の皆様に、深く感謝申し上げます。



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェアー株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730



そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>



平成28年度新入オリエンテーションを終えて

総務部 佐藤 塁 (新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里)

去る4月17日(日)12時から17時まで、横浜市の旭公会堂にて平成28年度新入オリエンテーションが開催され、390名の新人理学療法士の参加をいただきました。

当日は春の嵐で、強い雨風により一部電車にも遅延が出る程の悪天候でした。そんな状況にも負けず懸命に会場へと駆けつけてきた新人の皆さんの姿に、これから臨床で頑張っていくのだという意気込みを強く感じました。

今年度は林克郎会長の挨拶と本会役員の紹介を始めとする、本会役員講師によるテーマ講演に加え、日本理学療法士協会会長の半田一登先生をお招きして「理学療法士の倫理」についてのご講演をいただきました。途中思わぬハプニングも起こりましたが、半田先生の講演は新人のみならず、既に臨床で働いている我々にとっても身につまされる内容のものでした。新人の皆さんも、半田先生から伝えられた専門職としての心構えを胸に日々の臨床へ、そして研究活動や土会活動へと積極的に活動していただければと思います。

末筆ではありますが、大変ご多忙の中本会の為にご講演いただいた半田一登先生、貴重な週末にも関わらず、新入オリエンテーションの運営に多大なご協力をいただいた県士会事務所の皆さんを始め役員の皆様に、深く感謝を申し上げます。



横浜そごう9階

60歳以上の高齢者単身・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸住宅

サービス付き高齢者向け住宅のご紹介

～神奈川県内200件以上より、健康にお暮らし頂ける住宅をご提案～

 **0800-888-6186**

【営業時間】10:00～20:00

 高齢者住宅募集センター  神奈川ロイヤル株式会社

ロイヤルハウジンググループは 全社をあげて **小さな親切**  **運動** 展開中!!

活動報告

「平成28年熊本地震」に対する本会災害対策本部を設置しました。

(公社) 神奈川県理学療法士会災害対策委員会 下田 栄次

本会では「平成28年熊本地震」を受けて、4月19日(火)付けで本会災害対策本部、神奈川JRAT災害対策本部を本会事務局に立ち上げました。本会災害対策本部長は林会長とし連絡窓口を本会事務局に設置しております。JRATを中心とした現在の支援状況の確認とこれからの動向について話し合うために、平成28年4月27日(水)に本会事務局にて第1回災害対策本部会議を行いました。

本会災害対策本部における各班の役割を確認、災害対策本部立ち上げと運営に関わる規定の見直し、「平成28年熊本県地震」への対応として「本会として何が出来るか」を検討しました。また神奈川JRATとしてのこれまでの動きと骨子(方向性)についても併せて確認し、広い範囲の検討となりました。

○神奈川JRATの動きについて

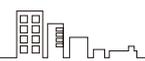
神奈川JRATでは、「支援者支援」「支援者サポート」をチームコンセプトに、JRAT災害対策本部へのサポートに入る事としました。4月26日(火)に神奈川JRAT担当医師がJRAT東京本部へ災害対策本部長としてサポートに入りました。また5月1日(日)～5日(木)には、本会災害対策委員2名を熊本JRAT現地災害対策本部(熊本機能病院)へロジスティックス(※)スタッフとして派遣いたしました。現地支援隊の派遣も順次検討しています。
(※)ロジスティックス：業務調整員、情報収集、連絡、調整、記録等々を担う

また本会では、熊本地震での被災者支援のため、募金を受付けています。募金箱を本会事務所と講習会・研修会の開催会場に設置致しました。募金は、被災地でのボランティア活動にあたる理学療法士を支援する事を目的とし、本会が管理致します。

残金につきましては、(公社)日本理学療法士協会または日本赤十字社へ義援金として送金いたします。皆様の温かい支援をよろしくお願い申し上げます。

本会は、医療の一翼を担う専門職として、被災者の皆様を応援し、引き続き被災支援活動を行ってまいります。本会の対応について、会員の皆様におかれましては、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。





産休・育休取得に伴う人員確保に関する調査報告 ～第2報:51回学術大会発表報告～

ライフサポート部 寺尾詩子

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第56報

昨年7月に実施しました人員確保に関するアンケート調査の結果の一部を札幌で開催の51回日本理学療法学会で報告しました。内容は本会ホームページ・ライフサポート部の「調査報告」に掲載しますので、ご興味のある方は一度覗いてみてください。

今回報告できた内容は下記の通りです。

- ① 出産・育児と仕事の両立を支援する制度の利用実績（過去3年分）について：回答施設の49%が「実績あり」との回答でした。内訳は、施設種別より、施設に所属する理学療法士が4名以下と少ない施設は、20%台と非常に少なく、5名以上の施設で50%以上と多くなっていました（図1）。制度はあっても少数施設では利用して両立するのは難しいのが現状です。
- ② 欠員状況について：欠員があると答えた施設は28%と回答者の約1/3にあたり、その内41%という半数近い施設で欠員理由が「産休・育休取得中」でした（図2）。
- ③ 求人について：求人後の反応については、必要数確保できたのは30%でした。本会のホームページを利用すると回答した施設は18%に止まり、求人はコストがかかる、求人に応答がない、上層部の理解がないなどで求人しないという施設も20%ありました。
- ④ 対策について、具体的な対策などの情報交換ができる場を作る、本会の地域組織体制の活用、本会の求人欄の工夫などを検討します。

会場からは下記のようなご意見をいただきました。

●臨時職員（有期契約勤務）の募集で人員確保ができた。

産休・育休要員として「パート」で募集したが、全く応募がなかった。そこで、「臨時職員」として半年更新、最大2年、給与は正規職員と同じ条件で募集すると応募がコンスタントにあり、多くの育休取得者を抱えている施設だが、人員確保ができるようになった。「ほんとに有期契約でいいの？」と聞くと、それぞれ理由があり臨時職員にも需要があると感じた。大変だという理由だけで、定員を増やして一時的な欠員分のリスクを賄うというのは、コンスタントに欠員が見込まれるとしても、経営上のリスクとなり実現は難しい。しかし、一時的でも欠員があることも減収となり、経営上のリスクである。欠員がある時だけという条件で、収益となることを提示すれば、受け入れてもらえると思います。

●産業医・上層部へ相談することで業務調整ができた。

上司を含め、ほとんどのPTが子育て世代で、常に産休・育休による欠員がある状態で5年間過ぎてきた。育休から復帰しても、急な休みは多い状態となり、安定して働ける環境ではなかった。PTの上司に相談しても業務量の調整はしないとされ、部内はあきらめムードだった。職場だけで

なく家庭生活でもイライラした感じとなり、業務の質も生活の質も悪くなり、独身の立場でも、業務量は多く、疲弊し辞めるPTも出てきた。そこで、産業医や直属より更に上の立場の人に慎重に相談し、パート勤務者の募集、業務量の削減、関連病院からの応援がかなうこととなった。

●神奈川県士会の調査結果を利用しています。

他県士会でも会員支援事業の必要性を訴える資料にし、実現できそう。十年前にはなかったライフサポート部のような担当部署が各都道府県士会の半数以上に設けられるようになってきている。

子育て世代がほとんどという施設も多く、管理的な立場となった人自身も育休中でどうしたらいいのかという切羽つまった施設も少なくないようです。そんな中、うまくいったという声もあります。そのような情報も少しずつでも集めて、調査結果とともにお伝えできるようにしていきたいと思います。

お知らせ

離職を防ぐ取り組みの紹介や、他の施設はどのような働き方で乗り切っているのか情報交換する場を企画しています。平成28年9月4日10時～13時（ウィング横浜）で開催予定です。ホームページをご確認下さい。

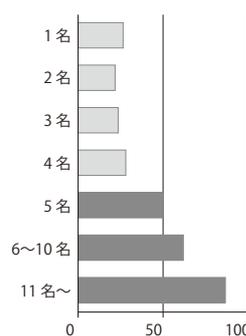
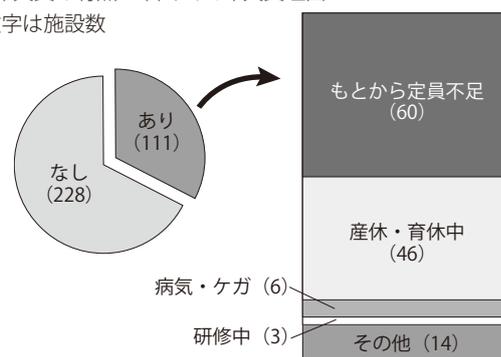


図1 過去3年間に産休・育休・育児時間などの制度利用実績ありの施設割合(所属PT数別で表示; 単位%)

図2 (円グラフ)欠員の有無 (帯グラフ)欠員理由

*カッコ内の数字は施設数





第35回 関東甲信越ブロック 理学療法士学会

テーマ

「生き生きと、活き活きと、粹々と」 — 2020年、2025年への展望 —



会期 2016年10月29日(土)～30日(日)

会場 パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

学会長 林克郎 (神奈川県理学療法士会会長
横浜リハビリテーション専門学校)

関ブロ35



検索 Facebookもチェック



事前参加登録 10月20日まで(正会員向け)

プログラム

基調講演

理学療法士が取り組むべきこと

— 地域包括ケア構築に向けて —

国立社会保障・人口問題研究所・社会保障基礎理論研究部 川越 雅弘

教育講演 「患者情報を収集して読み解こう」

1) 脳画像所見にもとづいて症状と

予後を推測して理学療法を計画する

川崎幸病院リハビリテーション科 手塚 純一

2) 呼吸循環障害とその管理状況を把握して

理学療法を計画する

北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科 木村 雅彦

シンポジウム

理学療法士によるスポーツ現場への関わり方

— リオ五輪での活動と2020東京オリパラに向けて —

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツテクノロジー学科 加藤 知生

(独)日本スポーツ振興センターマルチサポート事業 小泉 圭介

国士館大学理工学部健康医工学系 地神 裕史

一般公開講座 10月30日(日) 15:30～16:30

無料

自分の可能性を求めて
— 2020年に向けて —
成田 真由美

リオデジャネイロ・パラリンピック 競泳 日本代表選手



<http://kanburo35.umin.jp>

主催：公益社団法人 日本理学療法士協会 関東甲信越ブロック協議会

担当：公益社団法人 神奈川県理学療法士会

運営事務局：株式会社コンベンションアカデミア

〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル4階

TEL：03-5805-5261 / FAX：03-3815-2028

E-mail：kanbro35@coac.co.jp



第34回 神奈川県理学療法士学会のプログラムと準備の進捗状況 —今年度は横須賀・三浦ブロックの担当となります—

学会テーマ

「地域に理学療法士が関わる意味～生命・生活・人生～」

昨年度より神奈川県理学療法士会のブロック化が始まりました。今回の第34回神奈川県理学療法士学会はブロック制が正式に発足して初めての開催となり、横須賀三浦ブロックが運営を担当することとなりました。ブロック化は地域包括ケアシステムをはじめとした地域での理学療法士活動、他職種連携、災害対策などが求められていく中での対応と思います。今回の学会テーマは「地域に理学療法士が関わる意味～生命・生活・人生～」です。

このテーマを決めて行く過程の中で様々なことが話し合われました。理学療法士が知識を高めることや技術を研鑽することは当然のことですが、対象となる患者さん・利用者さんにはどのような意味があるのでしょうか？地域連携を進めて行く過程で多くの職種との共同が求められるところで理学療法士という職種が関わる意義はどのようなことがあるのでしょうか？それは対象となる方の命、暮らし、生きがいなどにどう働きかけているものなのでしょうか？そんなことを考え、症例報告などを通して語って頂ける場になればと考えています。

皆さんが持つ様々な視点から、どのような視野を持って臨んだことなのかを是非この機会にお見せ下さい。

【開催日時】平成29年3月12日（日） 9:00～16:00

【開催場所】パシフィコ横浜 3階

プログラムは、テーマに合わせて主に次の3企画を予定しています。

教育講演	症例リレー	県士会活動紹介
------	-------	---------

詳細は現在調整中です。

今年度は横須賀・三浦ブロックが担当です。

4月より以下の8名で準備委員会を構成し、会議を繰り返しています。

渡部 政司（学会長／財務係）	鈴木 三四郎（副学会長）
高橋 伸宏（準備委員長・副学会長）	柳澤 俊史（財務係長）
石井 顕（IT係長）	水野 智明（運営係長）
芝原 修司（学術係長）	千葉 公太（総務係長）

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>

研修会・講習会

●県士会主催

平成28年度 神経系理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テマ：脳卒中片麻痺者の理学療法
～運動学・運動力学から捉えた姿勢・動作分析からの
治療展開～

日 時：1回目：平成28年11月20日(日)時間は調整中
2回目：平成28年12月18日(日)時間は調整中

会 場：調整中

講 師：萩原 章由先生(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

受 講 料：県士会員 2,000円、他都道府県士会員 5,000円

申込受付期間：1回目：平成28年9月20日(火)14：00
～平成28年11月6日(日)17：00

2回目：平成28年10月17日(月)14：00
～平成28年12月4日(日)17：00

定 員：各回100名(先着順。定員に達した時点で締め切りと
なります)

対 象：理学療法士

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問合せはメールでお願いします。

詳細は10月号のニュース、およびホームページでお知らせします。

平成28年度 発達障害理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部・発達障害支援部

テマ：小児理学療法学入門

～はじめて脳性まひ児に対するセラピストに臨床に役
立つ知識を提供する～

内 容：①乳幼児期の全人的発達について理解を深める。
②成人脳卒中患者と比較して運動障害や運動学習のあ
り方の違いを知る。
③脳性まひの定義・分類(タイプ、麻痺の分布、重症度)
と治療方針の関係を考える。
④合併症として発達障害(自閉症スペクトラム、ADHD
など)を持っている児の臨床を考える。

日 時：本年度より、同じテーマで日時・会場を変えて各2回
開催いたします。

お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：平成28年10月2日(日) 13:00～16:00(受付
開始 12:30～)

2回目：平成28年12月3日(土) 13:00～16:00(受付
開始 12:30～)

会 場：1回目：横浜市東部地域療育センター会議室
(最寄駅：JR東神奈川駅もしくは京浜急行 仲木戸駅よ
り徒歩5分)

2回目：神奈川県立保健福祉大学大講義室(最寄駅：
京浜急行 県立大学駅より徒歩5分)

講 師：萩原 聡先生(横浜市東部地域療育センター)

受 講 料：県士会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き
落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担くだ
さい。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金
確認できましたら、受講登録が完了します。入金が
確認出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、
支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんの
のでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登
録をお願いします。
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修
会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成28年8月1日(月)14：00
～平成28年9月18日(日)17：00

2回目：平成28年10月3日(月)14：00
～平成28年11月19日(土)17：00

定 員：各回40名(先着順。定員に達した時点で締め切りとな
ります)

対 象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在詳細を検討中なので、判
明次第、本会ホームページにアップしていきます。最
新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問合せはメールでお願いします。



療育セミナー テーマ いま、伝えたいこと ～「こどものライフステージ」理学療法士が考えていること～

お父さん・お母さんは今現在の自分のこどもの子育てを精一杯頑張っていることと思います。

そんな中で、「この子が青年になり、大人になった時に役立つことを少しでもしてあげたい。」と思われるのではないのでしょうか。将来のこどもの心や身体にとって、今何を考えてどんな風に関わる事が大切なのか。そんなことのヒントが得られればと、神奈川県内の療育施設で長年にわたり運動障害を持ったこどもと関わってきた個性豊かなベテラン理学療法士を講師として、障がいのあるこども達のライフステージについて熱く語ってもらうという企画を立てました。

一般、ご家族、療育・教育・保健・福祉の関係者、学生など興味・関心のある方は是非ご来場ください。



- 内 容：**講演 1：脳性まひをもって生きるということ
～当事者である理学療法士の立場より～
講 師：元神奈川県立こども医療センター
理学療法士 新田通子
講演 2：「ライフステージに添った支援」
～成長 - 生活をご家族と共に考える～
講 師：元横浜市総合リハビリテーションセンター
理学療法士 三沢峰茂
講演 3：「臨床経験を通じて大事にしてきたこと」
講 師：元神奈川県立総合療育相談センター
理学療法士 井上 保

日 時：2016年7月30日(土)13時～16時(受付12:30～)
会 場：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム bono相模大野サウスモール3F

*参加費無料・事前申込み不要です。

*どのセッションからでもご参加いただけます。

*保育サービスはありませんが、車椅子でご入場いただけます。

*詳細はホームページをご覧ください。

●他団体

米国における脳卒中リハビリテーションの実践とCIセラピー

CIセラピー発祥の地、米国アラバマ大学CIセラピー研究チーム・ディレクター David M. Morrisが来日

- 内 容：**1977年にCIセラピーを開発した米国アラバマ大学のCIMT研究グループ・ディレクター、デービット・モリス氏を日本にお招きして、横浜にて講演会を開催いたします。
- 1)米国における中枢神経疾患に対するリハビリテーションの考え方と実践内容
 - 2)中枢神経疾患に対する行動変容アプローチ
 - 3)CIセラピーのコンポーネントとその根拠
- ※随時通訳いたします。

会 場：湘南医療大学
横浜市戸塚区上品濃16-48
講 師：米国アラバマ大学PT,Ph.D. David M. Morris
受 講 料：8,000円
定 員：200人
お問合せ先：①所属、②氏名、③保有資格、④連絡先メールアドレスをご記入の上、info@citherapy.sakura.ne.jp 湘南医療大学リハビリテーション学科担当:田邊浩文まで送付ください。

日 時：平成28年10月8日(土)13時～17時



理事会報告

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2015年度第5回理事会報告

I. 開催日時：平成28年2月16日(火) 19:00～21:30

II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名

理事現在数：15名 定足数：8名

出席理事数：13名

出席理事：林 克郎、隆島研吾、炭 孝昭、佐藤史子、惣田洋、大槻かおる、小山理恵子、坪内敬典、相馬光一、山崎哲司、渡邊裕之、久保雅昭、久保木あずみ

IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名

出席監事：井上 保、君嶋武司、秋田 裕

V. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、石川久子

VI. 議長の氏名

林 克郎

VII. 議事録作成者氏名

石川久子

VIII. 議題

第1号議案 平成28年度事業計画(案) 予算(案)の承認について

第2号議案 規程の承認について

第3号議案 (公社)日本理学療法士協会代議員推薦について

第4号議案 会員の資格の取得の承認について(入会・転入の承認)

第5号議案 業務執行の決定について
(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

IX. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

(2) 第1号議案 平成28年度事業計画(案) 予算(案)の承認について

議長の求めに応じ、佐藤副会長より平成28年度事業計画(案) 予算(案)について提案があり、予算調書の事業目的と差異がある事業については事業目的の再確認をすることとなった。

ア 確認をする事業

(ア) 地域包括ケアシステム推進研修会

(イ) 第34回神奈川県理学療法士学会

(ウ) 学術大会部運営会議

(エ) 第34回神奈川県理学療法士学会事業意見交換会

(オ) 平成28年度新人教育プログラム研修会

(カ) 学術活動助成事業

審議の結果、特に反対意見はなく、確認作業完了確認を持って承認することとなり、出席理事13名全員一致で承認された。

(3) 第2号議案 規程の承認について

議長の求めに応じ、佐藤副会長より以下の規程改定および新規規定(案)が提案された。

ア 改定案提案された規程

(ア) 就業規程

(イ) 個人情報保護規程

(ウ) 特定個人情報取扱規程(案)

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

(4) 第3号議案 (公社)日本理学療法士協会代議員推薦について

林会長より日本理学療法士協会代議員選挙における代議員および補欠代議員推薦者の提案があった。

ア 代議員被推薦者

(ア) 隆島研吾氏(神奈川県立保健福祉大学)

(イ) 小山理恵子氏(鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院)

(ウ) 久保木あずみ氏(スギ訪問看護ステーション都筑)

イ 補欠代議員被推薦者

(ア) 坪内敬典氏(茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

(イ) 内田賢一氏(神奈川県立保健福祉大学)

(ウ) 山崎哲司氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)

(エ) 渡邊裕之氏(北里大学医療衛生学部)

(オ) 長澤充城子氏(川崎市れいんぼう川崎)

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

(5) 第4号議案 会員の資格の取得の承認について(入会の承認) 議長の求めに応じ、佐藤副会長より会員の資格の取得について、前回理事会からの入会者が4名、転入者が19名あったとの説明がされ、平成28年2月16日現在の会員数が4,622名との報告があった。

審議の結果、特に反対意見はなく、出席理事13名全員一致で承認された。

(6) 第5号議案 業務執行の決定について
(事業報告及び各種団体からの依頼事項、表彰者推薦事項の承認を含む)

ア 関連団体依頼事項の件

(ア) 佐藤副会長より、以下の後援・協賛依頼があったとの説明があった。

a フュージョンコムかながわ県肢体不自由児協会「第49回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会/第53回関東甲信越肢体不自由児父母の会連合会神奈川大会」広告掲載協賛

b 神奈川県体育協会「平成27年度トレーナー研修会(後期)」後援

c 日本医療マネジメント学会第15回神奈川支部学術集会「日本医療マネジメント学会第15回神奈川支部学術集会」後援

d 神奈川県医療専門職連合会「第39回神奈川県栄養改善学会」後援

e 神奈川県保険医協会「医師及びメディカルスタッフのための第32回糖尿尿病セミナー」後援

f 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター「第12回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム」共催

g 神奈川県リハビリテーション病院「卒後臨床研修専門臨床研修」後援

h 神奈川県回復期リハビリテーションソール



- ワーク研修会
「多職種リハビリ勉強会」後援
- i 神奈川県糖尿病療養指導士認定機構
「第9回神奈川県糖尿病療養指導士認定機構研修会」後援
- j 日本義肢装具学会「第31回日本義肢装具学会学術集会」後援
- k 神奈川県栄養士会「専門職の食と栄養セミナー」後援
- l 神奈川県保険医協会「第19回医療・健康フェスティバル」後援
- 審議の結果、特に反対意見は無く、出席理事13名全員一致で承認された。
- (イ)佐藤副会長より、以下の会員推薦依頼があったとの説明があった。
- a 神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター
「第12回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム」シンポジスト
佐藤史子氏(本会副会長)を推薦
- b 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会監事選出
佐藤史子氏(本会副会長)
- c 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会委員選出
露木昭彰氏(足柄リハビリテーションサービス)
相川浩一氏(介護老人保健施設アゼリア)
久保木あずみ(スギ訪問看護ステーション都筑)
神保隆行氏(横浜市都筑医師会)
- d 第35回関東甲信越ブロック理学療法学会査読者推薦
人選については事務局で対応
- (ウ)佐藤副会長より以下の依頼があったとの報告があった。
神奈川県立保健福祉大学修士課程設置への意見書提出
- 審議の結果、特に反対意見は無く、出席理事13名全員一致で承認された。
- (エ)佐藤副会長より、以下の会議室使用申請があったとの報告があった。
- a 小児理学療法勉強会(平成28年2月11日)
- b 神奈川県糖尿病療養指導研究会(平成28年3月3日)
- c アーリア20管理組合(平成28年4月24日)
- 審議の結果、特に反対意見は無く、出席理事13名全員一致で承認された。
- イ 業務執行における審議事項
- (ア)坪内理事より、フェイスブックの作成および運用について提案があった。
- 審議の結果、隆島副会長より運用期間について指摘があり、平成28年4月1日より運用を開始することとなり、出席理事13名全員一致で承認された。
- (イ)小山学術局長より「第33回理学療法士学会」の広告掲載を産経新聞に掲載したいとの提案があった。
- 審議の結果、特に反対意見は無く、出席理事13名全

- 員一致で承認された。
- (ウ)大槻職能局長より小児ガイドブックのWEB登録と運用について提案があった
- 審議の結果、特に反対意見は無く、出席理事13名全員一致で承認された。
- (エ)佐藤副会長より以下の通り、提案があった。
- ア 表彰委員の選出について
隆島副会長、炭副会長、佐藤副会長 磯部貴光氏(一般会員)の4名で任期は平成29年度総会終了までとする。
- イ 表彰規定に基づき永年賛助会員表彰について提案があった。
被表彰者は国際保険株式会社(20年表彰)木村義肢工作研究所(20年表彰)日本ウィール・チェアー株式会社(20年表彰)ソフィアメディ株式会社(10年表彰)の4社で県学会終了後の事業意見交換会内で表彰するとの説明があった。
- 審議の結果、特に反対意見は無く、出席理事13名全員一致で承認された。
- (オ)佐藤副会長より平成28年度会議日程について提案があった。
- 審議の結果、特に反対意見は無く出席理事13名全員一致で承認された。

X. 報告事項

- (1)事務局業務執行状況報告
- 前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。
- (ア)事務職員について
1月末にてパート職員2名が退職され、2月よりパート職員2名、経理担当として派遣会社より1名の事務職員が増員された。
- (イ)発行文書・收受文書の管理について
- (ウ)広報部より、クリアファイルの図案が決定し、2,500部作製したことが報告された。
- (エ)ニュース編集部より、平成28年度印刷会社の選定があり、ポートサイド印刷に引き続き依頼することが報告された。
- (オ)ウェブサイト管理部より、平成27年4月より平成28年1月までのホームページ閲覧数について報告された。
- (カ)ライフサポート部より、第51回日本理学療法士学術大会の演題採択について報告された。
- (キ)災害対策委員会より、平成28年度事業予定および研修会参加報告がされた。
- (2)学術局業務執行状況報告
- 前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。
- (ア)臨床実習教育部より、臨床実習教育部研修会終了報告があった。
- (イ)生涯学習部より、以下の研修会終了報告があった。
- a 平成27年度神経理学療法講習会
- b 平成27年度運動器理学療法講習会
- (ウ)学術誌編集部より、「技術と研究44号」発行進捗状況について報告された。
- (エ)学術大会部より第33回神奈川県理学療法士学会の進捗状況について報告があり、機器展示出展企業が3社と少ないため、再度出展依頼をする予定との報

理事会報告



告があった。また日程が横浜マラソンと重なり当日搬入が出来ない為、準備委員数名が前日から宿泊をする予定との報告があった。宿泊費用については学術局内予算で捻出することとなった。

(オ) 研究支援部より今年度事業の「埼玉県理学療法士会研究支援活動」の視察が調整困難で中止となったことが報告された。炭副会長より事業が中止にならないように計画性を持って事業執行をしてほしいと指摘があった。

(3) 社会局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。

(ア) 公益事業推進部より、今年度終了事業の予算執行状況の報告があり、残り1事業の進捗状況が報告された

(4) 職能局業務執行状況報告

前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。

(ア) 平成28年度「管理者研修会」について進捗状況の報

告があり、この事業は神奈川県委託事業(生涯教育推進事業)の為、開催希望時期と神奈川県からの依頼について、整合性を確認することとなった。

(イ) 医療保険部より執行状況の報告があった。

(ウ) 中途障害支援部より、執行状況の報告があった。

(5) 地域包括ケアシステム推進委員会業務執行状況報告
前回理事会から昨日までの執行状況が報告され、以下の事業を実施予定との報告があった。

(ア) 地域支援事業研修会

(イ) 推進リーダーアドバンス研修

(6) 第35回関東甲信越ブロック学会準備委員会準備状況報告
前回理事会から昨日までの準備状況が報告された。

(7) かながわ高齢者保健福祉計画・推進等委員会報告

(ア) 久保木理事より介護予防事業ワーキング会議の報告があった。

月	日	内容	場所
3月	2日(水)	第12回常任理事会	事務所
	6日(日)	ブロック活動報告会	横浜リハビリテーション専門学校
	13日(日)	第33回神奈川県理学療法士学会	パシフィコ横浜
	15日(火)	第8回事業運営会議	事務所
	16日(水)	責任者研修会	関内ホール
	21日(月)	日本理学療法士協会臨時士会長会議	TKP田町カンファレンスセンター
	21日(月)	PT・OT・ST3協会合同都道府県士会会長会議	TKP田町カンファレンスセンター
	25日(金)	神奈川県理学療法士連盟総会	事務所
28日(月)	神奈川県リハビリテーション協議会	波止場会館	
4月	5日(火)	国際医療福祉大学小田原校、新校舎完成祝賀会	国際医療福祉大学小田原校城内校舎
	6日(水)	第1回常任理事会	事務所
	7日(木)	医療専門職連合会	公開セミナー
	12日(火)	小川かつみ後援会、打合せ	事務所
	14日(木)	関プロ学会準備委員会	横浜リハビリテーション専門学校
	17日(日)	新人オリエンテーション	旭区公会堂
	19日(火)	第1回事業運営会議	事務所
	22日(金)	小川かつみ後援会、応援依頼	神奈川県作業療法士会事務所
	26日(火)	小川かつみ後援会、打合せ	事務所
27日(水)	災害対策本部会議	事務所	
5月	6日(金)	市大医学部リハビリテーション学教室中村教授就任祝賀会	インターコンチネンタルホテル
	9日(月)	医療専門職連合会理事会	神奈川県作業療法士会事務所
	11日(水)	第2回常任理事会	事務所
	15日(日)	平成28年度、監査会	事務所
	16日(月)	小川かつみ後援会、打合せ	事務所
	17日(火)	第1回理事会	事務所
	19日(木)	神奈川県介護人材確保対策推進会議	ロイヤルホール横浜
	19日(木)	湘南地域リハビリテーション研究会	湘南藤沢徳洲会病院
	20日(金)	関プロ学会準備委員会	横浜リハビリテーション専門学校
	21日(土)	日本理学療法士協会臨時士会長会議	TKP東京駅カンファレンスセンター
	22日(日)	リハビリテーション教育評価機構研修会	国際医療福祉大学大学院
30日(月)	地域組織対策本部会議	事務所	
6月	1日(水)	第3回常任理事会	事務所
	1日(水)	小川かつみ後援会神奈川県自民党本部挨拶	県庁
	2日(木)	小川かつみ後援会遊説同行、勉強会	湘南東部地区、伊勢原
	3日(金)	日本理学療法士協会協会賞授賞式・祝賀懇親会	東京マリOTTホテル
	4日(土)	日本理学療法士協会代議員総会	ベルサール汐留
	5日(日)	小川かつみ後援会、神奈川県第18区総決起大会同行	ホテルKSP
	6日(月)	小川かつみ後援会、打ち合わせ	事務所



information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。
紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。
*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。
神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。
「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず

必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行ってください。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了してください。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可してください。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました
☆楽天カードの主な特徴と機能

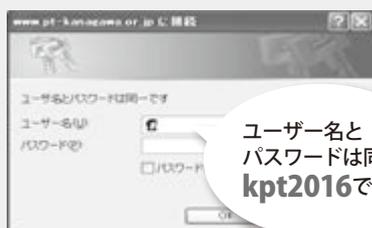
- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
 - 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
 - 書籍購入（一部割引）等が可能となります。
- *詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

- ①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。
- *楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証のパスワードが変更になります！



2016年7月15日からパスワードが変更します

(8月15日までは旧パスワード kpt2015 でも閲覧可能)

本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

あなたの生活をサポートします



(有) 木村義肢工作研究所

横浜市栄区安間三丁目40番5号 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560
http://www.kimura-gishi.co.jp/

スポーツ現場 の 独り言 (9)

リハビリテーションとスポーツの違い？

今年は何といても4年に一度のビッグイベントの年です。8月に第31回オリンピック大会、9月に第15回パラリンピック大会がブラジルのリオデジャネイロで開催されます。実は、わたくし前回2012年にはオリンピックに日本代表チームの競泳トレーナーとして参加しましたが、今年は初めてパラリンピックに競泳トレーナーとして参加することになりました。また新たな挑戦に向かうことができ、非常に興奮しながら取り組んでいるところです。

今回、パラの競泳チームに携わりだしてまず考えたことがあります。それは、よく言われることですがリハビリテーションとスポーツの違いです。パラ競技の指導者から「選手はリハではなくスポーツをやっている」という言葉を度々聞きました。リハもスポーツどちらも身体活動です。これは強度の違いか？と想像していましたが、実際に関わってみるとどうも単純なことではありませんでした。

実際、パラ選手はとても高いレベルでトレーニングしています。そうだからこそ代表選手として選ばれているのですが、確かに五輪選手と比較するとどこか物足りないのです。それは何なのか。個別にトレーニングやマッサージなどで関わり

合いだと、なんとなくその原因がわかりだしました。つまり、現状の中で頑張っているのですが、新しいことにチャレンジしようとする選手が少ないのです。

例えば、先天性の前腕欠損の選手は片腕で泳ぎます。選手の中には、欠損している上肢を上手く使えないからと常に片腕だけで泳ぐことしかしない選手と、上手くできないながらもトレーニング効果を狙って欠損している上肢を懸命に使って泳ごうとする選手がいます。実際にレースでは片腕で泳ぐことになるのですが、果たしてどちらの選手の方が伸びるか。わたしは今まで多くの選手と関わって、明らかに後者だと思っています。それはフィジカルの点だけでなく、精神的にもそういうチャレンジが必要だと思うからです。

また、全盲の選手は日常生活から後方重心で猫背の選手が目立ちます。しかし本人もスタッフもそういうものだと思っているので、改善しなければならないという意識はほぼ全くありません。しかし競技に必要な身体条件から考えると、猫背では胸郭の回旋がスムーズにできないので絶対に改善した方が望ましいのです。そこで、どうすれば改善できるかを考えて取り組むという工夫が我々に求められます。なかなかトレーニングが身体条件的に難しくても、それが必要であれば何とかして実現しなければならないのです。

勝利のために、今日の自分を乗り越えて、新しい自分を発見することがスポーツの意味だと思っています。そのためにはいろいろなアイデアを出し、チャレンジする勇気が必要です。しかし、リハビリテーションも本来そういうものです。機能を改善し、再獲得し、自分を変えていく過程です。だとすれば、リハとスポーツにさして違いはありません。あるとすれば、選手や指導者の意識の中の「現状で良い」という考えです。つまり、選手のみならず、指導者が勝手にゴールを決めて指導してしまっても選手は勝てないということなのです。選手とともにチャレンジできるか？という覚悟を求められるのは我々なのだということを、改めて考えさせられながら仕事に取り組んでいます。

小泉 圭介

編集後記

少し前の話になりますが、健康の大切さを改めて考えさせられる経験をしましたので、お話しさせていただきたいと思えます。私は昔から胃腸が弱く、周りと同じものを食べても私だけ体調が悪くなることがありました。一部の人には分かっていたかと思いますが、漫画『ちびまるこちゃん』に出てくる山根くんぐらい胃腸が弱いです。ある日、普段は胃腸の不調でも数日で回復するのですが、長期間が続いたためかかりつけの病院を訪ねました。問診、触診、血液検査…いろいろしてみたのですが、結局原因が分からず胃の内視鏡検査を受けることになりました。いわゆる胃カメラですが、初めての私にとって不安が感じませんでした。知人に聞いたり、ネットで調べたりしてみましたが、不安になるばかりでした。担当医からの説明では、最近の内視鏡は細くなり局所麻酔もかけることから、以前ほど苦しい思いをしないということでした。検査は担当医の言葉通り、思っていたより苦痛なく受けることができました。結果も、大きな病気はなく一安心しました。健康な時少し無理をしても大丈夫と過信してしまいがちですが、今回改めて健康であることのありがたみを感じるとともに、体調管理には気を付けようと思う今日この頃でした。

(今井)

次号の原稿締め切りは平成28年9月6日です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部(ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いたします。

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典(茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
部長：渡邊観世子(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
部員：今井 祐子(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
金子 達也(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)